

山口県日本海海区漁業調整委員会委員の委員候補者の推薦・応募の結果

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
漁業者又は漁業従事者委員候補	1	一木 清久	71	男	漁業	昭和43年～ 一本釣り漁業に従事 昭和61年 須佐漁協青壮年部 部長 平成3年 須佐漁協 監事 平成14年 山口はぎ漁協須佐支所 監事 平成17年 山口県漁協須佐支店 運営委員 平成24年 須佐一本釣り船団 団長 平成24年 北浦一本釣り連合会 会長 平成27年 山口県漁協須佐支店 副運営委員長 令和6年～ 山口県漁協高山支店 副運営委員長	一本釣り	56年	○	阿武萩漁業共励会 会長 長岡利憲	会員の連合協同組合の発達を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	水産に関する経営及び技術の向上、会員の知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂揚並びに漁業秩序の確保、会員相互の親睦・融和、その他目的達成上必要と思われること	山口県漁協はぎ統括支店 正組員 625名	昭和43年より漁業に従事し、平成3年より須佐漁協監事を11年務め、平成17年から山口県漁協須佐支店運営委員、令和6年より同漁協高山支店副運営委員長に就任し、現在に至る。須佐地区一本釣り船団長の傍ら、活イカ出荷の取組や「須佐の男命いか」のブランド化を推進する活動を行っており、その魅力を県内外に発信し知名度向上に寄与。漁業就業希望者を対象とする県主催の説明会等においても相談対応や研修実施を行うなど新規就業者の育成も務める。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業の発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	2	水津 和弘	65	男	漁業	昭和53年 宇田郷漁協 入組 平成27年～ (株)宇田郷定置網 取締役 平成31年 山口県漁協はぎ統括支店 退職 令和元年 山口県漁協宇田郷支店 運営委員 令和6年～ 山口県漁協阿武支店 副運営委員	大型定置網	9年	○	阿武萩漁業共励会 会長 長岡利憲	会員の連合協同組合の発達を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	水産に関する経営及び技術の向上、会員の知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂揚並びに漁業秩序の確保、会員相互の親睦・融和、その他目的達成上必要と思われること	山口県漁協はぎ統括支店 正組員 625名	昭和53年、宇田郷漁協に入組し、山口県漁協宇田郷支店支店長、同漁協はぎ統括支店購買部長を歴任し、組員からの信頼も厚く、営漁指導や組合経営に携わり46年間勤務。その間、地元自治会長や八幡宮総代も務め、地元住民からも絶大な信頼を得ている。令和元年から本格的に(株)宇田郷定置網の経営に参画。令和6年から山口県漁協阿武支店副運営委員長に就任し現在に至る。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	3	梶本 久繁	65	男	漁業	昭和55年 (有)相八商店 入社 平成9年～ 同社 代表取締役社長 就任 令和3年～ 山口県漁協越ヶ浜支店 運営委員長 令和6年～ 山口県漁協はぎ統括支店 副運営委員長 山口県漁協理事	船びき網	43年	○	阿武萩漁業共励会 会長 長岡利憲	会員の連合協同組合の発達を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	水産に関する経営及び技術の向上、会員の知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳	山口県漁協はぎ統括支店 正組員 625名	昭和55年、代々の網元として漁を営む(有)相八商店の船びき網漁業の乗組員として就業、平成9年に同代表取締役に就任。平成30年より山口県漁協越ヶ浜支店運営委員、平成3年より同運営委員長、令和6年から山口県漁協理事及び同

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
												の昂扬並びに漁業秩序の確保、会員相互の親睦・融和、その他目的達成上必要と思われること		漁協はぎ統括支店副運営委員長に就任。後継者の長男も大学卒業後に就業し、6次産業化への取組や外部人材の新規就業者活用にも積極的に取り組んでおり、意見やアイデアを自由に発言できる組織運営に努めている。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	4	中村 裕	74	男	漁業	昭和40年～ 建網漁業に従事 昭和55年～ 一本釣りに従事 令和5年 山口県漁協見島支店 運営委員長 令和6年 同上 退任	一本釣 建網	59年	○	阿武萩漁業共励会 会長 長岡利憲	会員の連合協同組合の発達を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	水産に関する経営及び技術の向上、会員の知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂扬並びに漁業秩序の確保、会員相互の親睦・融和、その他目的達成上必要と思われること	山口県漁協はぎ統括支店 正組員 625名	昭和40年に父の経営する建網漁業に従事。その後、見島漁協理事や山口はぎ漁協運営委員を務め、地区漁業者の中心的存在として長年活躍。特に一本釣漁業に長年従事しており操業実態や漁場利用状況に関して豊富な知識と経験を有する。地区漁業者の信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	6	南野 市治	77	男	漁業	昭和39年～ 一本釣り漁業に従事 平成7年 仙崎漁協 監事 平成12年 仙崎漁協 理事 平成15年 山口ながと漁協仙崎支店 運営委員 平成15年 長門一本釣連合会北部会長 平成25年～ 山口県漁協仙崎支店 運営委員長 平成27年 山口県漁協長門統括支店 副運営委員長 平成27年～ 山口県漁協 理事 平成28年～ 日本海海区漁業調整委員会 委員 令和6年～ 山口県漁協長門統括支店 運営委員長	一本釣	60年	○	大津水産共励会 会長 南野市治	会員の連合協同組織の強化を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道徳の昂扬並びに漁業秩序の確保、会員の親睦、その他目的達成上必要な事項	山口県漁協ながと統括支店 正組員 364名	昭和39年から一本釣漁業に従事。仙崎漁協では理事、令和6年から山口県漁協長門統括支店運営委員長を務めており、地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に一本釣漁業では長門一本釣連合会北部会長として、操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	5	河野 敏春	74	男	漁業	昭和43年～ 漁業に従事 平成18年 山口県漁協通支店 運営委員・総代	棒受網	56年	○	大津水産共励会 会長 南野市治	会員の連合協同組織の強化を促進し、水産	知識の向上を図るための研修並びに	山口県漁協ながと統括支店	昭和43年から漁業に従事。平成24年から山口県漁協通支店運営委員長を務

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
						平成 24 年～ 山口県漁協通支店 運営委員長 令和 6 年～ 山口県漁協長門統括支店 副運営委員長 令和 6 年～ 山口県漁協長 理事					業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	一般的情報の提供、漁業道德の昂揚並びに漁業秩序の確保、会員の親睦、その他目的達成上必要な事項	正組員 364 名	めており、地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に抄棒受網漁業・建網漁業においては、操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	7	濱谷 正	74	男	漁業	昭和 41 年～ 漁業に従事 平成 21 年 山口県漁協掛淵支店 運営委員 平成 24 年 山口県漁協掛淵支店 副運営委員長 平成 30 年～ 山口県漁協掛淵支店 運営委員長 令和 3 年～ 日本海海区漁業調整委員会 委員	一本釣	58 年	○	大津水産共励会 会長 南野市治	会員の連合協同組織の強化を促進し、水産業の生産力の増進を図り、所属員の経済の発展を期する	知識の向上を図るための研修並びに一般的情報の提供、漁業道德の昂揚並びに漁業秩序の確保、会員の親睦、その他目的達成上必要な事項	山口県漁協ながと統括支店 正組員 364 名	昭和 41 年から漁業に従事。平成 30 年から山口県漁協掛淵支店運営委員長を務めており地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に延縄漁業や棒受網漁業においては、操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	10	西島 正明	80	男	漁業	平成 13 年～ 一本釣漁業・建網漁業に従事 平成 24 年～ 山口県漁協豊浦支店 運営委員長 令和 3 年～ 日本海海区漁業調整委員会 委員 令和 6 年～ 山口県漁協豊浦統括支店 運営委員長 令和 6 年～ 山口県漁協長 理事	一本釣 建網	23 年	○	豊浦郡水産共励会 会長 益田雅和	組員の高揚するため、研究及び調整し、併せて相互の親睦を図る	健全な漁村の育成、漁協並びに系統機関への研究調査の依頼・進言陳情、会員相互の研究、情報交換、親睦等、その他会員が必要と認める事項	山口県漁協豊浦統括支店、角島漁協、黒井漁協 正組員 436 名	平成 13 年に一本釣漁業・建網漁業に従事。平成 24 年に山口県漁協豊浦支店運営委員長、令和 6 年から同漁協豊浦統括支店運営委員長を務めており、地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に採藻漁業や建網漁業の操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有し、山口県漁協の資格審査委員会委員長を務める実績もあり、県内各地の漁業実態にも精通。令和 3 年から日本海海区漁業調整委員会委員を務め、地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
														欲を持っていることから適任である。
	9	阪井 章二	61	男	漁業	昭和 61 年～ 一本釣漁業に従事 平成 12 年 青年漁業士に認定 平成 19 年 角島漁協 理事 令和元年～ 指導漁業士に認定 令和 6 年～ 角島漁協 組合長	一本釣 素潜り 磯建網	38 年	○	豊浦郡水産共励会 会長 益田雅和	組合員の漁業生産を高揚するため、研究及び調整し、併せて相互の親睦を図る	健全な漁村の育成、漁協並びに系統機関への研究調査の依頼・進言陳情、会員相互の研究、情報交換、親睦等、その他会員が必要と認める事項	山口県漁協豊浦統括支店、角島漁協、黒井漁協 正組員 436 名	昭和 61 年に一本釣漁業に従事。平成 19 年から角島漁協理事を務めるなど地域漁業者の中心的存在として長年活躍。特に採介藻漁業や一本釣漁業・建網漁業の操業実態や各種漁業の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有し、青年漁業士や指導漁業士としても漁業・水産業の担い手の育成に尽力。地元漁業者からの信頼は厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	8	益田 雅和	69	男	漁業	昭和 54 年 豊浦町役場に勤務 昭和 60 年～ 採介藻漁業に従事 平成 27 年 下関市役所 退職 平成 30 年～ 山口県漁協豊浦室津支店 運営委員長 令和 3 年～ 豊浦町水産振興会 会長 令和 3 年～ 豊浦郡水産共励会 会長 令和 6 年～ 山口県漁協豊浦統括支店 副運営委員長	採介藻	40 年	○	豊浦郡水産共励会 会長 益田雅和	組合員の漁業生産を高揚するため、研究及び調整し、併せて相互の親睦を図る	健全な漁村の育成、漁協並びに系統機関への研究調査の依頼・進言陳情、会員相互の研究、情報交換、親睦等、その他会員が必要と認める事項	山口県漁協豊浦統括支店、角島漁協、黒井漁協 正組員 436 名	昭和 60 年に採介藻漁業に従事。下関市役所退職後、平成 30 年から山口県漁協豊浦室津支店運営委員長を務めるなど地域漁業者の中心的存在として長年活躍。平成 3 年から豊浦町水産振興会長や豊浦郡水産共励会会長を務めており、信頼に値する人物。特に採介藻漁業の操業実態や役所勤務で培った各種漁業の漁場利用調整に関して豊富な知識と経験を有する。地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	11	宇都宮 康彦	65	男	漁業	平成 9 年～ はえ縄漁業に従事 平成 15-19 山口県漁協伊崎支店 青壮年部部长 平成 18-23、27-29 山口県漁協伊崎支店 運営委員 平成 24-29 山口県漁協青壮年部連合会 下関支部長 平成 24～令和 2 山口県漁協青壮年部連合会 副会長 平成 30 年～ 山口県漁協伊崎支店 運営委員長 令和 2 年～ 下関外海漁業共励会 監事 令和 3 年～ 日本海海区漁業調整委員会 委員	はえ縄	27 年	○	下関外海漁業共励会 会長 廣田弘光	旧下関市外海地区の山口県漁協の各支店の相互間の連絡協力を図り、水産振興と漁業の発展を期する	漁業の調整と漁場の管理、融和と協調で漁場の総合利用、漁場造成と繁殖保護、栽培漁業の推進	山口県漁協の旧下関市外海地区の 8 支店 正組員 1889 名	平成 9 年にはえ縄や採介藻漁業に従事。平成 18 年に山口県漁協伊崎支店運営委員、平成 30 年から同支店運営委員長を務めるなど地域漁業者の中心的存在として活躍。はえ縄漁業や採介藻漁業の操業実態を熟知しており、沿岸の漁場利用調整に豊富な知識と経験を有する。長年青壮年部のリーダーとして活動し、地域

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
														内外の若手漁業者の相談役であり様々な問題を解決する知識を備えている。平成30年から下関外海漁業共励会メンバーとして地域の漁業調整にも携わっている。行動力と高い見識により地元漁業者からの信頼も厚く、漁業者への指導力もある。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
学識経験委員候補	1	仁保 宣誠	74	男	法人顧問	昭和52年 萩越ヶ浜漁協 入組 平成8年 萩越ヶ浜漁協 参事 平成13年 山口はぎ漁協 入組 平成17年 山口県漁協 入組 平成18年 山口県漁協 参事 平成24年 山口県漁協 専務理事 平成28年～ 日本海海区漁業調整委員会 委員 平成30年～ 山口県漁協 相談役	—	—	—	山口県漁業協同組合 代表理事組合長 森友 信	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、以て組合員の経済的社会的地位を高める	水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営及び技術に関する指導 等	正組合員 2,394名	萩越ヶ浜漁協、山口はぎ漁協、山口県漁協と長年の指導事業の経験を通じ、種苗放流や資源管理の実践経験が豊富な他、参事、専務理事を務め漁業経営、漁業調整にも精通。平成24年からは沿岸漁業と大中型まき網漁業の漁業調整において、沿岸漁業代表として重要な役割を果たしてきた。平成27年から山口県太平洋クロマグロ資源管理協議会会長を務めるなど、本県の資源管理、漁業経営に関する専門家として長年活躍しており、誠実な人柄で漁業関係者からの信頼も厚い。平成28年からは山口県日本海海区漁業調整委員会の学識経験委員に就任され、資源管理及び漁業調整に尽力されている。本人も海区漁業調整委員会委員としての職責を十分理解し、今後の地域漁業の発展に向けて、委員としての活動に高い意欲をもっていることから適任である。
	2	中島 均	68	男	法人管理職	昭和54年 山口県庁 入庁 平成23年 山口県農林水産部 水産振興課長 平成26年 山口県農林水産部 審議監 平成27年 山口県農林水産部 理事 平成29年 山口県庁 退職 平成29年～ 日本海海区漁業調整委員会 副会長 平成29年～ 日本海・九州広域漁業調整委員会 委員	—	—	—	山口県漁業協同組合 代表理事組合長 森友 信	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、以て組合員の経済的社会的地位を高める	水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営及び技術に関する指導 等	正組合員 2,394名	昭和54年に山口県庁に水産技術職として採用。県内はもとより福岡県や島根県などの隣接県も含めた漁業操業や資源保護に関する漁業調整に携わってきた。トラフグやアマダイ、キジハタ、クロマグロなど山口県日本海側の重要魚種について漁業者・漁業関係団体と連携し、

委員区分	推薦を受けた者又は応募した者									推薦した者				
	No	氏名	年齢	性別	職業	経歴	主な漁業種類	従事年数	漁業者又は漁業従事者	団体等の名称及び代表者名	設立目的	業務内容	構成員数 構成員の資格	推薦又は応募理由
						平成 29 年 (公社) 山口県栽培漁業公社 理事長 令和 5 年 (公社) 山口県栽培漁業公社 退職 令和 5 年～ 山口県漁協吉佐統括支店 参与								新たな資源管理の枠組みを主導するなど資源管理や漁業制度、漁業経営に豊富な知識と経験を有する。平成 29 年から日本海海区漁業調整委員会副会長、国設置の日本海・九州西広域漁業調整委員会委員を務めるなど資源管理や漁業経営の専門家として長年活躍。漁業者からの信頼も厚い。本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業発展に向け委員としての活動に高い意欲を持っていることから適任である。
	3	若林 敏江	59	女	大学教員	平成 13 年 東京水産大学 技術補佐員 平成 14 年 科学技術振興事業団 重点研究支援協力員 (遠洋水産研究所) 平成 19 年 遠洋水産研究所 外洋資源部外洋いか研究室 研究等支援職員 平成 25 年 東北水産研究所 資源海洋部 浮魚いか資源グループ研究等支援職員 平成 26 年 水産大学校海洋生産管理学科 准教授 平成 31 年～ 水産大学校水産学研究科 海洋生産管理学科併任 教授 平成 26 年～ 日本海海区漁業調整委員会委員	—	—	—	山口県漁業協同組合 代表理事組合長 森友 信	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、以て組合員の経済的社会的地位を高める	水産資源の管理及び水産動植物の増殖、水産に関する経営及び技術に関する指導 等	正組合員 2,394 名	ケンサキイカやスルメイカを中心とした本県日本海側の重要魚種について、資源変動や生態、来遊状況、漁場開発などについての資源管理の研究、さらには、いかつり漁業の経営分析やいか加工品の流通の研究に長年携わっており、豊富な科学的知見を有し、本県日本海側の漁業に精通している。平成 26 年から日本海海区漁業調整委員会委員を務めるなど、本県漁業の資源管理に関する専門家として長年活躍しており、誠実な人柄で漁業関係者からの信頼も厚い。本人も海区漁業調整委員会委員としての職責を十分理解し、今後の地域漁業の発展に向けて、委員としての活動に高い意欲もっていることから適任である。
中立委員候補	1	黒川 裕希	43	男	弁護士	平成 19 年 弁護士登録 平成 19 年 山口県弁護士会 入会 平成 29 年 山口県弁護士会 副会長	—	—	—	山口県弁護士会 会長 鶴 義勝	弁護士及び弁護士法人の使命及び職務にかんがみ、その品位を保持し、弁護士及び弁護士法人の事務の改善進捗を図るため、会員である弁護士及び弁護士法人の指導、連絡及び監督に関する事務を行う	会員である弁護士及び弁護士法人の指導、連絡及び監督に関する事務	山口地区、下関地区、周南地区、宇部地区、岩国地区、萩・長門地区 合計 183 名 法人会員 20 法人	平成 29 年度副会長を務めたほか、長年、「法律相談センター」の運営に深く関わってきた。誠実な人柄は会員全員が認めるところである。人格見識とも申し分なく、本人も海区漁業調整委員会委員の職責を十分理解し、今後の地域漁業の発展に向けて、中立委員としての活動に追意欲を持っており、公平・公正な立場で積極的な発言が期待できることから適任である。

